

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和5年8月22日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和5年8月8日（火） 13時25分～14時30分
開催場所	庁議室
出席者職氏名	〔担当部課〕 今野教育政策部長、土崎生涯学習課長、吉成生涯学習課副課長、 木村生涯学習課主事 〔政策推進会議メンバー〕 村山総合行政部長、豊島総務部長、松永市長公室長、尾崎人事課 長、川幡財政課長、松田政策推進課長 〔関係部課〕 細田都市整備部長、滝田都市計画課長、加藤建築開発課長、青木 新複合施設建設推進室長、渋谷公共施設マネジメント推進室長、 浅見新複合施設建設推進室副室長 <p style="text-align: right;">（計16人）</p>
欠席者職氏名	<p style="text-align: right;">（計 0人）</p>
説明員職氏名	吉成生涯学習課副課長 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議 題	① 志木市立秋ヶ瀬スポーツセンター再整備基本方針（案）について ② 「秋ヶ瀬運動場施設」に関するアンケート（案）について
結 果	志木市立秋ヶ瀬スポーツセンター再整備基本方針（案）につい ては、大きな方向性は案のとおりとし、指摘のあった課題を整理 しつつ調整を進めることとする。「秋ヶ瀬運動場施設」に関するア ンケート（案）については、民間活力の導入余地があるかどうか を含め、設問内容を再検討することとする。
事務局職員職氏名	小高政策推進課主査、矢野政策推進課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

小高政策推進課主査が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<①志木市立秋ヶ瀬スポーツセンター再整備基本方針（案）について>

- ・吉成生涯学習課副課長より概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

志木市公共施設等マネジメント戦略に基づき、老朽化が進み、耐震性能も不足している秋ヶ瀬スポーツセンターを、市民のスポーツ振興や地域コミュニティの活性化を目的とした施設として再整備する。

再整備にあたっては、武道館の機能を移転させるとともに、市民や利用団体等のニーズを的確に捉えながら、秋ヶ瀬運動施設全体を効果的に管理・運営する複合施設とすることを予定している。また、秋ヶ瀬スポーツセンターの建替に伴い、秋ヶ瀬総合運動場、秋ヶ瀬運動公園施設についても、市民の誰もが楽しめる利用のしやすい施設として再整備していく。

再整備の考え方としては、第3期志木市スポーツ推進計画（令和5年3月）を指針とする。「いつでも・どこでも・だれでもスポーツを楽しめる夢のあるまち」を基本理念とし、市民一人ひとりのライフスタイルに合わせてスポーツができる環境づくりを推進することを目的とする。また、「スポーツ」を幅広く捉え、記録や勝敗を競い合う「競技スポーツ」だけではなく、ウォーキングなどの健康運動やバーベキュー等のレクリエーションなど、だれでも簡単に、生涯楽しめるスポーツやレクリエーションを含むものとする。

(1) 各施設の再整備方針

①秋ヶ瀬スポーツセンター

子どもから高齢者まで、スポーツ・レクリエーションを楽しみ、地域コミュニティの活性化を目的とした複合施設とする。宗岡地区は、公民館等の施設が少ないことから、再整備後は地域の方々を中心として会議や交流の場として利用できるようにする。

また、秋ヶ瀬スポーツセンターに武道館機能を移転・設置することで、宗岡地区においても武道を楽しむ環境整備を進め、スポーツ推進に繋げる。既存施設の宿泊機能については、現在の利用状況等を踏まえた検討を行う。

②秋ヶ瀬総合運動場・秋ヶ瀬運動公園

秋ヶ瀬総合運動場や秋ヶ瀬運動公園では、野球やサッカー、ソフトボール、パークゴルフなど子どもから高齢者まで幅広い年齢層に、スポーツ・レクリエーションを楽しむ施設として利用していただいているが、地域の方や家族など、市民の誰もが楽しめる利用のしやすい魅力のある施設とする。総合運動場については駐車場を整備する。

メンバー：再整備期間の仮施設はどのようにするのか。

担当部課：まだ検討段階ではあるが、移動できるプレハブ等を総合グラウンドに設置することや近辺の倉庫を借りること等を想定している。

メンバー：硬式野球場と駐車場について要望が出ているがどうなるのか。

担当部課：どちらも整備予定である。運動施設整備については、補助金を活用して整備していくことを考えている。

メンバー：方針の標題がスポーツセンター等再整備方針であるが、内容を見ると秋ヶ瀬運動場施設全体の再整備である。志木市公共施設等マネジメント戦略に基づいた、老朽化・耐震性能不足である秋ヶ瀬スポーツセンターの再整備からの事案であるが、秋ヶ瀬運動施設の再整備も含むため、総称したものの方が良い。

メンバー：場所の活用について、民間活力を取り入れることは考えているか。

担当部課：堤外では、飲み水を引くことや、建物を設置することが難しいため、自由度が少ないものとなってしまうが、検討する。

メンバー：方針の方向性は案のとおりとして、指摘された課題を整理しつつ調整を進めること。

<②「秋ヶ瀬運動場施設」に関するアンケート（案）について>

- ・吉成生涯学習課副課長より概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

対象は利用団体、地域の町内会、個人とする。紙で依頼を行い、LoGo フォームなどの電子回答も可能としたい。

メンバー：団体、町内会、個人でアンケート内容は異なるか。

担当部課：前文は異なるが、設問内容は同様のものである。

メンバー：利用団体は利用した団体ということか。

担当部課：利用登録をされている170団体である。

メンバー：民間活力を取り入れるのであれば、アンケートで把握できた要望を集約し

て提供するという活用もできるのではないか。
民間活力を取り入れるかどうかも含めて、アンケート設問を検討すること。

○結論

志木市立秋ヶ瀬スポーツセンター再整備基本方針（案）については、大きな方向性は案のとおりとし、指摘のあった課題を整理しつつ調整を進めることとする。アンケートについては、民間活力の導入余地があるかどうかを含め、設問内容を再検討することとする。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。